



全ては子どもたちのために

壁面に掲示してご活用ください

共に歩まん

令和4年3月3日発行

第29号

長野県中信教育事務所
←過去の「共に歩まん」はこちら



シリーズ『すぐに使えるICT』外国語科編 ~聖南中学校 田原先生の授業から~
中学校3学年「Unit3 Animals on the Red List」

育成を目指す資質・能力

「書くこと ウ」

社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

ICT活用のポイント

- ① 考えを練り上げる際に、容易に何度も書き直したり、書き加えたりできる
- ② 友の作文をその場で読み、英語表現と表現内容を学び、自分の考えに生かす

授業の様子から

本時は、絶滅危惧生物について読んだことを基に自分の考えを書く授業でした。

- ① 考えを練り上げる際に、容易に何度も書き直したり、書き加えたりできる

Aさんは教科書の英文を頼りにGoogleスライドの自ページにイリオモテヤマネコについて書き始めました。しばらくするとウェブでその動物についての情報を集め、They are about 50 in Japan.と補足をしました(写真1)。その後、教科書を読み直し、They are one of the endangered animals.の文を抜き出し、1文目の後に書き加えました。

- ② 友の作文をその場で読み、英語表現と表現内容を学び、自分の考えに生かす

田原先生は授業の途中で、数名の生徒の英文を大型モニターに提示し、単元の新出表現を用いたり具体的な数値や状況を記述したりしている良さを全体に共有しました。すると、Aさんは紹介された以外の友の英文もクラウド上でさらに読み始めました(写真2)。数人分を読んだ後、自分の英文に戻り、because of traffic accidentsと書き、その動物の現状や置かれている環境などについて具体的に説明する文を書き加えました(写真3)。



写真1



写真2



写真3

本時、Aさんは、既習の知識、教科書、友の成果物等と対話をしながら、自己の考えを深め、表現することができているね。情報の追加や順序の工夫等は、読み手にとって、より読みやすく、分かりやすい文章を書くことにつながるよ。外国語科では、ICTを活用することで、「言語活動」がさらに充実したものになるんだ。

